

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立泉尾北小	学校
----------	----

児童数	34
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.00	18.80	34.78	46.22	48.11	9.54	142.00	24.80	54.50
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.58	17.14	35.05	44.11	36.32	9.91	135.75	13.10	53.25
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

【体力合計点において】

T得点（全国平均を50.0とした得点）は、男子51.5、女子49.2であり、ほぼ同値といえる。

【質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において】

肯定的回答において、男子は100%（全国93.4%、大阪市93.5%）、女子は81.0%（全国85.8%、大阪市85.0%）だった。

【1週間の総運動時間において】

60分に満たない児童の割合が、男子は0%（全国9.8%、大阪市11.7%）、女子は26.3%（全国17.2%、大阪市20.0%）だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【これまでの取組と成果】

・3学期にはこれまで行ってきたなわとび週間、ジョギング週間に加え、昨年に引き続きたてわり班で競い合う「大縄跳び集会」を実施した。1～6年生が協力し、楽しみながら体力向上を図ることのできる行事であった。ジョギング週間ではアップテンポな曲を流して児童のペースが刻みやすいようにした。加えて3学年ずつに分けて走らせたため運動場のスペースに余裕ができ、個人のペースで走ることができた。2月開催の「マラソン大会」を目標に、児童は意欲的に取り組んでいた。

・これまで本校の課題であったソフトボール投げ（巧緻性・投球能力）および反復横跳び（敏捷性）については2年連続で全国平均を超えたため、改善がなされたと考える。立ち幅跳び（筋パワー・跳躍能力）および50m走（疾走能力）に関しては今一つ成果が出ていない。今年度、夢授業において陸上競技の指導を仰いだことにより児童の走競技に対する興味が湧いた。次年度も児童自ら進んで体力の向上を楽しむ施策を学校全体で構築する。